

お客様の
ご紹介

社会医療法人 宏潤会 大同病院・大同クリニック 様

大同病院様は、大同製鋼株式会社（現在の大同特殊鋼株式会社）の診療所として、1939年に設立。その後、1985年に医療法人 宏潤会 大同病院として独立。2006年には外来部門を分離した、だいでうクリニックを開設し、より機能的で効率的ながら、患者さまを待たせない診療環境を整えた。さらに、2011年には、より社会的な責任の重い社会医療法人に認定され、地域に密着した中核病院として、地域の人々の健康を支えている。とりわけ小児科に強く、救急時間帯でも必ず小児科医が常駐する体制を整え、子どもを持つ親には、なくてはならない存在となっている。



■お客さまデータ

所 在 地：愛知県名古屋市中区
病床数：一般394床、結核10床、計404床
ホームページ：<http://www.daidohp.or.jp/index.html>

導入製品

導入製品 **A4シートフィードスキャナー DS-530**



導入台数:101台

高耐久
40万スキャン※1

両面同時
読み取り

給紙容量
50枚※2

↓製品の詳細はこちら↓

スキャナーのホームページ

epson.jp/scnj1/



導入製品 モバイルプリンター PX-S05W/PX-S05B



導入台数:12台

重量
約1.6kg

無線LAN
標準

簡易ドライバー
内蔵

↓製品の詳細はこちら↓

[モバイルプリンターのホームページ](#)

epson.jp/bpj1/



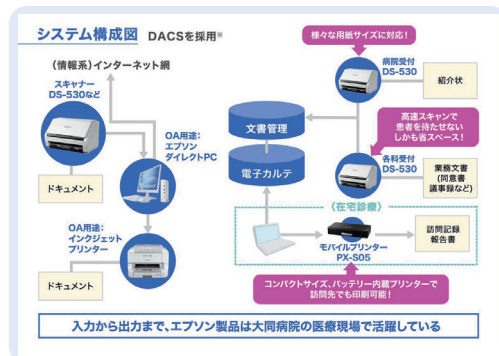
※1:消耗品を適切に交換した場合。※2:用紙厚80g/m²の場合。枚数は参考値。※仕様詳細はTブロンホームページをご確認ください。

事例概要

スキャナーを院内各所に分散配置。現場で素早くスキャンして効率化を実現。

- ▶ 紙文書をデータ化し、電子カルテに統合して管理するため、DACS コンセプト^{*}に基づくシステムを導入。
- ▶ 紹介状や入院誓書などを院内各所でスキャンすることにより、患者さまの待ち時間を短縮するスキャナーの「分散配置」を検討。
- ▶ 窓口では様々な紙文書をスキャンするため、用紙対応力が高い「DS-530」が選ばれた。

※：DACS(Document Archiving and Communication System)は大阪大学医学部附属病院医療情報部が提唱するコンセプトです。



在宅医療にモバイルプリンターを持参。訪問医療の業務効率アップ。

- ▶ 在宅診療部と訪問看護ステーションにモバイルプリンター「PX-S05」を導入。
- ▶ ノートパソコンと「PX-S05」を持って患者さまのお宅を訪問。その場で、処方箋や診療情報提供書などをプリントし、お渡し可能。

ご導入ポイント

- メーカーとしての**信頼性**、**コスト**、**コンパクトさ**、スキャンスピードの**速さ**、誰にでも扱える**操作性**のスキャナー
- 軽量・コンパクト**で**A4用紙をカラープリント**することができ、**バッテリーを内蔵**している**モバイルプリンター**

ご利用メリット

- 院内各所へ、スキャナーを分散配置。
高い用紙対応力と素早い読み取りで効率化を実現
- 在宅医療でもバッテリー内蔵のためコンセントを
借りずに素早くプリントできて作業効率アップ

詳しい内容は裏面をご覧ください。

導入ご担当者に
聞きました

デジタル化した紙文書とデータを一元管理 よりスピーディーで確実な診療が可能に

電子カルテと文書管理システムを導入。業務効率化によって職員の負担が軽減

私たちは2011年に電子カルテシステムを更新した際、DACSコンセプト※に基づく診療記録の統合管理システムを導入しました。同システムは患者さまの署名が入った同意書などの紙文書と電子カルテなどのデジタルデータを一元管理するシステムです。診療記録の統合管理システム導入前は、日々発生する検査・手術の同意書、かかりつけ医からの紹介状、入院誓書など紙文書の運搬・保管などに手間がかかっていました。システム導入後は、それらの文書をエプソンのスキャナーDS-530でスキャンし、タイムスタンプと電子証明書を添付し、原本として保存しています。紙文書を保管するスペースが不要で、電子カルテのデータと同じようにいつでも呼び出して確認することができます。患者さまにはスキャン後の書類を控えとして返すため、これまでのように元の書類とコピーした控えに2度サインしてもらう必要もありません。効率化によって職員の業務負担が軽減し、よりスピーディーで確実な診療が可能になりました。

スキャナーを診察室前などに分散配置。素早いスキャンで、効率化を実現

オーダーの手間や書類を運搬する時間のロスなどをなくするため、スキャンセンターを設けず、院内各所にスキャナーを配置する「分散配置型」を選択しました。素早くスキャンすることで患者さまを待たせず効率化を実現しています。エプソン製のA4シートフィードスキャナー「DS-530」を101台導入しました。メーカーとしての信頼性、コスト、コンパクトさ、スキャンスピードの速さ、誰にでも扱える操作性が導入の決め手でした。各診療科の診察室前カウンターの、ナースステーション、検査室などに配置しています。機器を統一したことでサポート窓口もまとまり、操作方法も統一できました。

ご利用の感想を
聞いてみました

診察・検査のスピード、訪問医療の業務効率アップ 確実で安全な医療と、よりきめ細かいケアが提供可能に



社会医療法人 宏潤会
だいどうクリニック 看護師
武田 千尋 氏

診察・検査がスピードアップ。 確実で安全な医療の提供に役立っています

患者さまから検査・手術の同意書、アレルギー調査票を受け取り、各診療科の診察室前カウンターに置かれたスキャナー「DS-530」で、スキャンしています。スキャンが終わると文書は診療記録の統合管理システムに保存されるので、元の文書は患者さまに控えとしてお返しします。DS-530は操作が簡単で素早くスキャンできるので、特に患者さまが多いときに助かっています。

また、初診の患者さまの紹介状や診療情報提供書は地域医療連携室でスキャンされ、その情報を診察室ですぐに確認することができます。医師も事前に情報を得られるので、診察のスピードが向上し、待ち時間を減らせるのはありがたいですね。



スキャナーは診察室前などに分散配置。



社会医療法人 宏潤会
だいどうクリニック
地域チーム医療・教育センター
在宅診療部
小津 美智子 氏

訪問先で処方箋などをプリント。 業務効率が上がり、よりきめ細かいケアが可能に

在宅医療において患者さまのお宅に訪問する際、エプソン製のモバイルプリンター「PX-S05」とノートパソコンを一緒に持っていきます。PX-S05はコンパクトで軽く、カバンにも楽に収まります。バッテリーを内蔵しているので訪問先でコンセントをお借りする必要がないのがいいですね。導入以前、医師は訪問先で処方箋をプリントできなかったため、クリニックに戻ってからプリントし、それを私たち看護師が院外薬局にFAXし、処方箋の原本を郵送するという作業が必要でした。導入後は訪問先でプリントできるのでそうした作業の必要がなくなり、非常に助かっています。

また、患者さまが別施設などに入られる際に必要な診療情報提供書もその場でプリントできるため、患者さまの状態を診ながら作成し、お宅に置いておくことができます。さらに、診療情報提供書に添付する画像をカラープリントできるのも便利です。効率が上がって、よりきめ細かいケアができるようになりました。



訪問診療時は訪問先でプリントできる。



コンパクトなためビジネスバッグにも楽に収まる。

※：ビジネスバッグに収まったホワイトモデル
持ち運びイメージ

エプソンの製品に関するお問い合わせ

エプソンインフォメーションセンター

050-3155-8100

受付時間 9:00～17:30 月～金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI 株式会社 の電話サービスを利用しています。

導入事例の詳細な内容はこちら

epson.jp/scase1/

エプソン販売株式会社